# 夏の夜のヒーロー

矢木　雄晋

ぼくの家の玄関には、小さなヒーローが暮らしている。

学校から帰ってきた時は土の中にかくれて静かだが、夜になると、彼らの時間が始まる。だんだん暗くなると、「カサカサ」という音を立て、冒険に出る。その姿はどんな虫よりも力強く見える。大きな体を動かし、ゼリーにたどり着くと、ツノの下でこっそりエサを食べる。まるで誰にもじゃまされたくないような、秘密の儀式のようだ。電気がつくと、彼らはまほうがとけたように動きを止めてしまう。ぼくは、そんな彼らとの暮らしを通して、小さな体の中に秘められた、本当の強さを知ることができた。その小さなヒーローとは、ぼくの大切なカブトムシとクワガタだ。